

歯科医師の医科麻酔科研修に関する検討会
報告書

令和5年8月31日

1 はじめに

- 国民に対する安全で質の高い歯科医療を提供していくため、歯科医師の医科麻酔科研修（以下、「研修」という。）は、法令を遵守しながら適正に行うことが重要である。
- この研修は、平成14年7月に歯科医師の医科麻酔科研修の質的向上、安全性の確保、研修の統一化を図る観点から、「歯科医師の医科麻酔科研修のガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）がとりまとめられ、平成20年6月には、①麻酔の責任者が研修指導者（麻酔科医師）であることの明確化、②患者に対し、歯科医師が研修の目的で麻酔に参加することの説明と同意取得、③研修を受ける歯科医師が研修開始時及び修了時にインターネットを通じた日本歯科麻酔学会への登録及び報告が盛り込まれた。

2 歯科医師の医科麻酔科研修の課題及び対応策

（1）実施方法、反復研修等について

- 研修の目的は、主として口腔外科学会認定医を取得することを目的とした全身管理と、主として歯科麻酔科医として全身麻酔、鎮静法等の麻酔管理に係る知識・技能を修得するものに分けられる。このため、目的に応じて歯科医師を養成するための十分な内容の研修を受けられるよう、全身管理と麻酔管理という2つのコースに分けることも考えられる。
- （研修参加者及び研修施設に対してアンケート調査を行ったところ、）研修における水準、項目等を見直してはどうかという意見がある一方で、見直す必要はないとの意見もある。
- 研修は、歯科医療を安全に行うために全身管理や麻酔管理の知識や技能を身に付けるために行われており、医業を行う歯科医師を育成するものではないことから、本研修を漫然と継続して行うべきではない。
- 麻酔管理についての研修は連続した複数日勤務し、麻酔前後の管理も含めて一連の研修を行うことが重要である。
- 生涯研修の観点から、医療機関等で歯科診療を行いながら週1日等で新しい知見等を得ることも考えられる。
- 現在、研修を行う研修指導者の要件を、日本麻酔科学会指導医、専門医、認定医としているが、研修指導者の確保状況等も踏まえ、同学会の指導医・専門医あるいは日本専門医機構麻酔科専門医とする。

（2）ガイドライン遵守について

- 同意取得の方法について、「歯科医師の医科麻酔科研修実施状況調査分析事業報告書」によると、研修について、文書で説明し個別同意を得る者が約5割と最も多

いものの、包括同意、個別同意、口頭での取得、文書での取得等、様々な方法で同意取得が行われていた。

- 基本的に、ガイドライン中に添付されている様式を踏まえた文書での同意取得が行われるべきである。
- 患者が安心して医療を受けられるようにする観点からも、適切に同意取得が行われることが重要であり、今後、患者・家族等の意見も踏まえた同意取得の方法や内容等について検討していくことも考えられる。
- 研修症例における麻酔の責任担当者は研修指導者であり、当該指導者が麻酔記録上の筆頭者となるべきだが、適切に麻酔記録を記載している施設が約6割にとどまっており、徹底されていない。
- 研修は、ガイドラインを遵守し指導医のもとで適切に行われることが前提となることから、研修を受ける歯科医師、研修を実施する研修施設、研修指導者等の関係者がガイドラインへの理解を深めることが重要である。このため、e-learningによる講習教材や、研修実施体制等についての自己点検リスト等を厚生労働科学研究等により作成し、研修開始前に研修歯科医師、研修指導者等が受講することを義務付けることが考えられる。

(3) その他

- 全身管理や麻酔管理に係る基本的な知識等を修得しないまま研修を行おうとする歯科医師が散見されることから、研修に参加を希望する歯科医師本人は自己研鑽を行うとともに、研修を希望する歯科医師の所属する診療科及び施設の長は研修受講前に基本的な知識及び技能について修得させることも重要である。
- 麻酔科学の基本的な知識及び技能の修得にあたっては、e-learning 等を受講させること、研修前にシミュレータを用いて一定の技術の修得を行うこと、また、医科麻酔科学と歯科麻酔科学とでコンテンツを共用したり、研修会等を共催したりすること等も考えられる。
- 研修修了者に対してアンケート調査を行い、研修修了後のキャリアパスを調べたりすること等によって、本研修事業全体の理解が深まることも考えられる。

3 おわりに

- 口腔外科治療はもちろんのこと、障害を有する者に対する歯科治療等においても歯科麻酔の果たす役割は大きい。研修が適切に実施されることによって、地域にかかわらず、国民に対する安全で質の高い歯科医療の提供が推進されることが期待される。このため、医学・歯科医学等の進歩、歯科麻酔の提供状況、研修の実施状況等を踏まえ、ガイドラインを適宜見直していくことが望まれる。

歯科医師の医科麻酔研修に関する検討会 構成員名簿

氏名	所属・役職
イイジマ タケヒコ 飯島 毅彦	昭和大学歯学部全身管理歯科学講座 教授
イチノヘ タツヤ 一戸 達也	東京歯科大学歯科麻酔学講座 教授
ウチノ ヒロユキ 内野 博之	東京医科大学医学部麻酔科学講座 教授 (公益社団法人日本麻酔科学会推薦)
コバヤシ リュウタロウ 小林 隆太郎	日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座 教授
トヨタ イクコ 豊田 郁子	患者・家族と医療をつなぐNPO法人架け橋 理事長
フジノ ユウジ 藤野裕士	大阪大学医学部生体統御医学講座 教授
ミシロ サトシ 三代 知史	公益社団法人日本歯科医師会 常務理事
ミズタ ケンタロウ 水田 健太郎	東北大学歯学部歯科口腔麻酔学分野 教授
ミヤワキ タクヤ 宮脇 卓也	岡山大学学術研究院医歯薬学域 歯科麻酔・特別支援歯学分野 教授
モリサキ ヒロシ 森崎 浩	慶應義塾大学医学部麻酔学教室 教授
ヨロズ トモコ 萬 知子	杏林大学医学部麻酔科学講座 教授

オブザーバー

ヤマカゲ ミチアキ 山陰 道明	公益社団法人日本麻酔科学会 理事長
--------------------	-------------------